

井波高等学校跡地利用計画（案）の
パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方（回答）

平成26年2月12日から3月3日まで実施した「井波高等学校跡地利用計画（案）」のパブリックコメントにおいて、2件のご意見をいただきました。

ご意見と市の考え方は次のとおりです。

No.	ご意見	市の考え方（回答）
1	<p>農業支援センター 農業に関することを研究、開発してみてもどうか？農業の魅力を発信し担い手の育成もする。 グラウンドについてはハウス栽培や野菜工場を作り、南砺ブランドの野菜をつくっては？</p>	<p>市では、医療と介護の連携を軸に、高齢者の在宅生活を支援する「地域包括医療ケア」の推進を図っています。 農業施設（野菜工場等）や担い手の育成については、南砺市内に誘致ができるよう、県に対し働きかけをしているところです。</p>
2	<p>南砺市全体の、各地区の棲み分けを考えることが必要だと思います。 福光は警察・消防があるので防災・災害関連の建設課関係、五箇山は観光関連、城端は教育文化、福野は市役所行政・総務 南砺市民病院のある井波地域は医療を強みとされたいと思います。 ゲートボール場や起業支援施設、大学の研修センターなどの趣旨の違うものを持ち込むのはすっきりしません。 地域医療包括センターを氷見市の移転庁舎のように体育館に持ってきて、 医療に必要な病棟のみ新築したら良いと考えます。</p>	<p>市では、医療と介護の連携を軸に、高齢者の在宅生活を支援する「地域包括医療ケア」の推進を図っています。 この推進に向けて、南砺市民病院では、今も改築工事を行っており、高校グラウンド跡地には、すでに西棟（病棟）が完成し、駐車場の整備も進められています。また、体育館やゲートボール場も、スポーツ以外に、介護予防や回復期の機能訓練等に利用することもできます。 今後も必要な施設の検討は進めていきますが、国の取り組みに先んじて始まった南砺市の「地域医療ケア」体制をさらに向上させていく、その拠点となるのが井波高校周辺であることは間違いありません。 なお、セミナーハウスについては、卒業生や地元の熱い思いの中で建設された施設であり、地域に活力を与える起業家への支援施設として有効に活用していきたいと考えています。</p>

問い合わせ先

南砺市教育委員会 教育総務課 総務係
電話 0763-23-2012